

湖 風



MEIKI UNIVERSITY

平成9年7月20日発行(年2回刊)
 <教育後援会だより>
 しおかせ
 発行/明海大学浦安キヤンパス教育後援会
 〒279 千葉県浦安市明海8
 電話 047-355-5112 FAX 047-355-5117

明海大学 創立者 宮田慶三郎理事長逝く



明海大学創立者、宮田慶三郎理事長が5月22日、午前11時50分、肺炎のために逝去された。享年91歳。故前理事長には、平成8年1月号、新春別誌にご登場いただき、「自身の生い立ちや大学の在り方を語っていただきました。その一文をご紹介します。」

「小学校の頃、牧舎の一部で、よく学校のことをしておりました。当時は学校の先生になりたいと思っていたんですよ。しかし実際に学校をでてからは、皆さんもご存じのとおり、欄科医師となり、その後実業にいらっしゃいましたが、教育への夢は常に抱いておりました。」



立者である宮田慶三郎理事で黙とうを捧げた。そのために、開会に先立ち、本学の創長の訃報が伝えられ、全員

評議員会開催

学生への援助をさらに厚く

5月25日(日)、浦安キヤンパス新研究棟3階会議室で1997年度教育後援会評議員会が開かれた。全国から参加した約60名の評議員が一堂に会して、今年度の事業計画や予算案について審議を行った。

開いていく。そのためには、外国語アプリが必要と挨拶をし、学部長代理の高倉翔教授が大東百合子学長のメッセージを、読み上げ、来年度に大学院を設置することを、選出し、1998年度の事を、長をはじめ新年度の役員を、入った。まず、加藤想士会母懇談会は、好評の地区父兄会、昨年同様、周知と、東北、北陸、東海、北陸、東北、北陸、東海地区の4カ所を予定している。援助、学食の補助など、全学行事援助費、教育・研究の他に会議費550万円、管理費1千780万円、学生生活館の建設費金の積立で1億7216万円の見込め、支出は教育後援会による、今年度は大学協定による学生交流に伴う派遣学生

そして(中略)昭和45年明海大学の前身である城西歯科大学を設立した訳です。しかし、私立大学というのほひとつ特徴がなければなりません。すなわち健全な御生涯であられたと思います。思い起せば、初代理事長には一昨年底秋にお会いしたのが初めてであり、そして最後ともなりました。翌月の「湖風」の創刊号に新春対談を企画し、その収録が目的でした。色白の、笑顔が大変印象的御業績に加え、卓越した書画と文學の才能を示す浪山の作品を残されております。頂いた達筆なお手紙に、張感が今でも伝わってきます。大変能弁であられると思います。大塚龍平では常に、調和した美しい花が描かれて、気品が漂っています。元気が御姿を最もしました。元気が御姿を最後に収録した新春対談全文と、ご丁寧なお手紙を大切に保存し、御冥福をお祈り致します。

宮田慶三郎先生を偲んで

最後となった対談の回想
 前会長 丹下 剛



本誌題字「湖風」を手に

して2600万円、学園祭(巴)と、学生に対する援助がさらに厚くなっている。この他に会議費550万円、管理費1千780万円、学生生活館の建設費金の積立として1000万円、予備費を含め、合計1億7216万円が計上された。



丹下前会長が
 名委員会に
 2年間にわたって教育後援会の会長を務めた丹下剛さんが、教育後援会の各委員会に推薦され、満場一致で承認された。

<1997年度新役員>
 △会長/加藤想士△副会長/秦誠三 小林田孝、新井敏男△会計/郷部節子△常任幹事/山田田孝、鈴木久子△幹事/清藤信雄、神嶋博 金子秀行、松井豊子、芝野日出男、佐藤一生 稲葉光治、大塚久美子、木村俊雄 泉沢千代子、峯村晴子△監事/若山照夫、山岡達哉

敬称略

翔け21世紀へ

教育後援会会長 加藤想士

「明海大学の基盤として飛躍 発展を願って」

本学の創立者であり、日本後援教育 研究会を含め、社会にの教育界 識者教育に多大な通用する人材の育成をこれまで以上願っております。

田慶三郎前理事長が、5月22日、肺炎のため、91歳でご逝去されました。先生のご冥福し、国も教育界も色々な教育改革を提言推進していきます。ここに教育後援会一同衷心よりお祈り申し上げます。

先生は、1970年に城西時代からハート(心)の時代となり、建学の精神である「国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす」を大学の理念として掲げられ、1988年に大

生が後継者として就任され、となるはです。どうぞ先生更なる発展と基盤づくりのた方「人生の糧となる生き生きとした感動と生命観」を学卓越した見識でこの時代の難生に与え続け、明海精神の一つとして育成していただければ、この新世紀を迎えるにあ第二に「雄力ある大学づくり」の支援ですが、昨年、丹下前会長を中心に、アメリカの充実改善と総合教育力体制の推進のために宮田理事長へ向けての報告書で五つの提言をいたしました。

なっております。第一、学生生活館の建設(1)学生生活館の建設(2)学生生活の建設(3)国際交流の推進(4)高度情報処理(パソコン利用)の充実(5)浦安キヤンパスにおける大学院の設置

以上五つの提言をもとにバックアップし、21世紀へ翔けたいと願っております。



